

ヒットエアを何のトラブルもなく正常に使用された場合でも、以下の様な状態が発生した場合は、新しく買い換えるか取扱店にご相談下さい。

- 生地部分がこすれたり、ほつれたりしてきた場合。
又、それによって内部気室(ポリウレタンフィルム/白色)が見えてきた場合。
- キーボックス部分やカートリッジボンベにヒビ、サビが発生した場合。
- 伸縮ワイヤー、ワイヤーループが擦れなどによって、ほつれが出た場合。
- 各素材が著しく変色、変化が生じた場合。

〈修理を依頼される場合〉

- お買い上げの取扱店まで保証書を添えて、商品をご持参下さい。
修理により商品の機能が維持できる場合に、ご希望により有料で修理させていただきます。
取扱店にお依頼にならない場合には、直接、当方へお問い合わせ下さい。

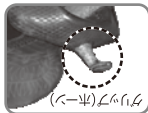
〈メンテナンスチェックをご希望の場合〉

- メンテナンスチェックとは、ウェアなどに、傷・破損が見当たらなくても、その中に組み込まれている気室に破損がある場合がありますので、当方にて各気室に空気を入れ漏れがないか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確認する作業です。
- ヒットエア付ジャケットが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。

お問い合わせ先：無限電光株式会社
TEL: 052-807-7750 E-mail: mugen@hit-air.com

27

9



注意 15. ウェアを脱着する際は、乗馬又は下馬時にクリップ(ホーン)に注意してください。乗馬と下馬に不安がある場合は、クリップ(ホーン)に引っかけないようにしてください。乗馬後に閉じ、下馬前に開けてください。

注意 14. キーホルダーに取付けられたワイヤーループ及び伸縮ワイヤーに、異常(ほつれ、さび、擦れ、切れ等)が確認された場合には、部品交換して下さい。

注意 13. レットエアの一体型エアバッグは洗濯、クリーニングはできません。

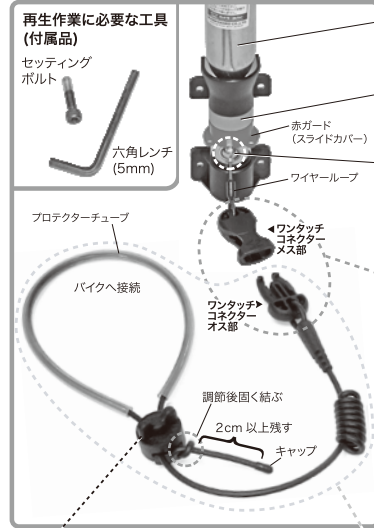
注意 12. 鞍に取付ける伸縮ワイヤーが正しく取付けてあるか、各自チェックして下さい。不完全な場合は正常に作動せずエアバッグが膨らまない場合があります。

注意 11. レットエアに、針を通したり、エアバッグ等の縫付けやアロンの使用はおやめ下さい。内部の気室を傷つけ、正常に作動しない場合があります。

注意 10. 保管は、折り畳んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガーで吊りさげて保管して下さい。又、持ち運びや移動する際も同様です。

注意 9. レットエアが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。

注意
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。



- CO² カートリッジボンベ** (P14参照)
キーボックスが作動するとボンベからCO²ガスがエアバッグ(各気室)へと送り込まれ膨らみます。
- キーボックス** (P12参照)
エアバッグの基盤部(作動装置)
- キーボール** (P13参照)
キーボールが抜けるとエアバッグが作動します。キーリングはキーボールをキーボックスに固定するパーツです。
- ワンタッチリリース(コネクター)** (P15参照)
乗馬の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接合して下さい。また下馬の際、右図のように外してからお降り下さい。(YKKと共同開発したバックル型)

ループセッター (P16参照)
伸縮ワイヤーを鞍に取付ける際に固定するネジ
伸縮ワイヤーを鞍に取付け、長さ調節をした後でループセッター下部の溝にワイヤーを固定し、蝶ネジを締めます。

伸縮ワイヤー (P16参照)
強度に優れたケブラー糸を使用したワイヤーにウレタン樹脂で表面をコーティングしています。
伸縮ワイヤーの接続は鞍に付いているサドルホルダーの中央部に伸縮ワイヤーを固定します。(当社製品サドルストラップへの取付けも可能。)

プロテクターチューブ (P16参照)
鞍へ取付けた際、滑りにくいラバー(又はシリコン)素材を使用しています。伸縮ワイヤーの巻き付け箇所の保護(摩擦、傷)を目的としています。



4

25



写真12 キーボックスがカバを開ける

注意 12. キーボックスがカバを開ける原因は、
作業の際に膨らみか弱く、
なるなどの誤作動の原因
になります。

注意 11. カートリッジボンベのねじ込みが緩いと、エアバッグが膨らみか弱く、作業の際に膨らみか弱く、なるなどの誤作動の原因になります。

注意 10. カートリッジボンベのねじ込みが緩いと、エアバッグが膨らみか弱く、作業の際に膨らみか弱く、なるなどの誤作動の原因になります。

注意 9. カートリッジボンベのねじ込みが緩いと、エアバッグが膨らみか弱く、作業の際に膨らみか弱く、なるなどの誤作動の原因になります。



写真11

注意 8. カートリッジボンベのねじ込みが緩いと、エアバッグが膨らみか弱く、作業の際に膨らみか弱く、なるなどの誤作動の原因になります。